

2017 11月号 No.404

JA
だより

みづま

三潴町農業協同組合

今年も収穫時期となりました



みづまの輝く農人

水稻収穫開始

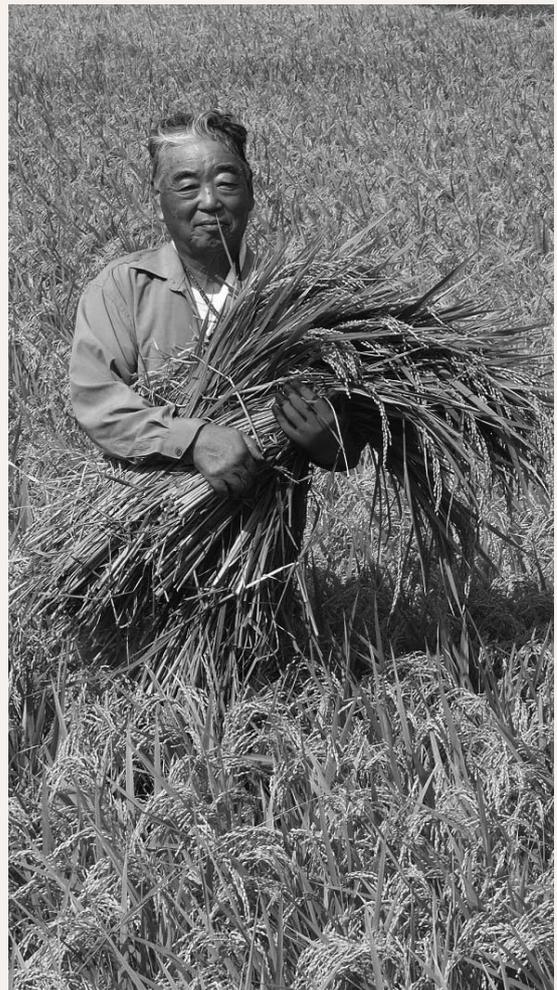
農事組合法人 たがわファーム

町内のあちらこちらで稲穂の頭が垂れつつある10月5日、三潴町では水稻「夢一献」を皮切りに「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」の収穫が始まりました。

今回は農事組合法人たがわファームの収穫作業にお邪魔しました。

たがわファームは今年で5回目の収穫。「夢一献」約13ヘクタール、「ヒノヒカリ」約35ヘクタールの面積を38名で経営しています。その他にも、ハトムギ「あきしずく」約3ヘクタール、大豆「フクユタカ」約15ヘクタールが作付けされています。

たがわファームの代表理事である田川勉さんは「最近、個人の方でも法人に農作業を委託する人が増えてきた。耕作放棄地を発生させることなく、この美しい田圃を維持していきたい」と力強く語っていただきました。



三潁の「米」いよいよ荷受開始

【検見会】

営農経済部農産課は9月25日に水稻の検見会を行いました。検見会とは、「夢一献」「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」の収穫時期を確認するため、農事組合長会の3役・担い手連絡会の役員・農産物検査員・久留米普及指導センターの指導員で各地区の圃場を回り、生育状況や害虫発生状況等を確認し、収穫時期を決めるものです。

久留米普及指導センターの指導員は、「出穂は早かったが、出穂後の日照時間が思うほど長くなかったため、平年より2日ほど早い収穫になる見込み」と話されていました。



【荷受開始】

カントリーエレベーターでは検見会で決定した収穫時期に合わせ、10月5日から水稻「夢一献」「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」の順に荷受作業を開始しました。

カントリーエレベーターは、生産者が収穫した籾を昼夜問わず乾燥・調整を行います。

今年は「夢一献」約110ヘクタール、「ヒノヒカリ」約142ヘクタール、「ヒヨクモチ」約99ヘクタールの作付け面積となっています。



上位入賞目指して腕前競う

年金友の会は9月21日、三潯農村運動広場で第11回グラウンド・ゴルフ大会を開催し、67名が参加しました。

この大会は会員の親睦を深め、健康長寿を目指すとともに、生涯スポーツの一つであるグラウンド・ゴルフの発展に貢献するために毎年行われています。

当日は好天に恵まれ、参加者達からは「お見事!ホールインワン」「惜しい!あとちょっと」等の声が飛び交い、熱戦が繰り広げられました。

表彰式では個人賞として15名の方々が表彰され、賞品が贈られると、大きな拍手に包まれました。また会員上位6名は、10月19日に開催されたJAバンク福岡主催年金友の会グラウンド親善大会に出場されました。



生きることの大切さを学ぶ

年金友の会と役職員OB会は9月29日、本所3階大研修室で大分県佐伯市まちづくり推進課の柴田真佑氏を招き、合同研修会を行いました。

研修会では、柴田氏より「食べることは生きること～いのちを紡ぐ現場の話し～」と題し、食べることは生きていく上で最も大切なことであることの講話や、自宅で簡単にできる「あ・い・う・べ」体操を実演していただき、会場は大いに盛り上がりました。

また、柴田氏は東日本大震災や九州北部豪雨等の被災地でボランティア活動を通して「家族や近所の人々との助け合いが大切」と話されました。



人生の楽しみ方を法話で学ぶ

JA元気クラブは9月19日、本所2階婦人部教養研修室でふれあい広場を行い、利用会員13名が参加しました。

今回は中秋の名月前ということで、午前中は紙コップと色画用紙を使って「うさぎの置物」を作成。かわいい出来映えに歓声が上がっていました。

また、午後からは城島町にある正法寺の藤永五雄住職から「人生は思いどおりにはならないこともある」ことを、おもしろおかしく語っていただきました。

担当職員は「元気クラブは、レクリエーションや食事、すべてにおいてボランティアの皆さんの協力によって成り立っています。なごやかな雰囲気を維持しつつ、三潯町内の皆様の生活に寄りそう活動を続けていきたい」と話しました。



家畜に感謝を込めて

営農経済部特産課は9月22日、本所2階農業振興対策室で第46回畜魂祭を行い、部会員及び各関係者11名が参列しました。

畜魂祭では神官の祝詞に合わせて牛や豚、鶏の霊を慰めました。また、祭文奏上では肥育牛部会の近藤保雄部会長が生産者を代表して「犠牲となった家畜の尊い霊に報いるため、これからの資源を有効最大限に活用できるよう努力していきたい」と感謝の意を表し、その後参列者は玉串と菊花を捧げました。



適正処理で環境を守る

営農経済部特産課は10月4・5日、本所駐車場で久留米市三潯町農業用廃プラスチック等適正処理推進協議会と協力して農業用廃プラスチック等の回収を行いました。

この回収作業は農作業で使用された産業廃棄物を適正に処理するため、毎年行っており、環境保全とリサイクルに取り組んでいます。

当日は農作業で使用された塩化ビニールや、ポリエチレン、あぜ波、肥料袋等多くの産業廃棄物が生産者によって運び込まれてきました。運び込まれた物は処理場で適正に廃棄されます。



冷え込む夜に温かいスープはいかが？

里いものポタージュ



材料

- ・ 里いも
- ・ 三潯町内産たまねぎ
- ・ 牛乳
- ・ コンソメスープの素
- ・ JAみづまの(お好みの)味噌
- ・ Aコープ商品塩コショウ
- ・ パセリまたは万能ネギ

作り方

- ①里いもの皮をむき、水を加えて竹串がすっと通るまで茹でる。
- ②たまねぎは皮をむき、みじん切りに。鍋に①の里いも・たまねぎ・水・コンソメスープの素を加えて蓋をし、中火にかける。沸騰したら蓋をずらして15分程煮る。
- ③汁けがなくなったら、潰してピューレ状に。再び鍋に戻して牛乳を加えて火にかける。温まったら味噌少々を溶かし入れ、パセリまたは万能ねぎを散らす。



saisai
ポイント!

◎牛乳を加えたら沸騰させないでください。分離して味が悪くなってしまいます。また、まとめて作って冷凍保存も可能です。



久留米税務署からのお知らせ

<平成29年7月九州北部豪雨で被害を受けられた皆様へ>

災害により国税の申告、申請、請求、納税等を期限までにできないときは、期限の延長や納税の猶予ができる場合があります。

詳しい内容については、下記ホームページをご覧ください。最寄りの税務署にお尋ねください。

【お問い合わせ先】

福岡県国税局ホームページ <http://www.nta.go.jp/fukuoka/>

久留米税務署 TEL:0942-32-4461

※自動音声案内に従い、「当税務署にご用の方(2)」を選択してください。

<平成29年分 給与所得の年末調整説明会について>

開催月日	時間	会場	対象者
11月20日(月)	13:30~15:30	小郡市文化会館 0942-72-3737	小郡市・久留米市北野町・三井郡大刀洗町の徴収義務者
11月21日(火)	13:30~15:30	うきは市文化会館 0943-75-3300	うきは市・久留米市田主丸町の徴収義務者
11月22日(水)	13:30~15:30	石橋文化ホール 0942-33-2271	久留米市の徴収義務者

(注) 1. 年末調整関係書類を事前に送付しますので、説明会には、必ず持参してください。

2. 駐車場は大変混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ先】

久留米税務署 法人課税第1部門(源泉所得税担当) TEL:0942-32-4461

※自動音声案内に従い、「当税務署にご用の方(2)」を選択してください。

農地の出し手、受け手を募集します

農地中間管理機構(公益財団法人 福岡県農業振興推進機構)を通じて、農地の賃借を行いますか? 農地中間管理機構は、農地を貸したい出し手から、規模拡大などを行いたい受け手(担い手)への農地の集積・集約化を進めるための中間的受け皿となる組織です。

農地中間管理機構は、公的機関ですので、農地の出し手は、確実に賃料が振り込まれる等、安心して貸し出すことができます。全農地(10アール未満の自作地を除く)を10年以上(15年以上)貸し付けた際は、権利設定した翌年から3年間(5年間)、固定資産税が2分の1に軽減されます。また、受け手は、契約や地代の支払いを一本化できるメリットがあります。

申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

平成29年度第2回公募

内容	期日(予定)
農地の出し手の募集	随時
農地の受け手の公募	受付中(~11月30日(木)まで)
機構を通じた農地の権利設定 (出し手→機構→受け手)	平成30年5月1日(火) 又は 6月10日(日)

【お問い合わせ先】

久留米市三潴総合支所産業振興課 TEL:0942-64-2315

公益財団法人 福岡県農業振興推進機構 TEL:092-716-8355

福岡県水田農業振興課 TEL:092-643-3474

〔同和問題と人権〕

結婚に関する差別

★子どもの結婚に対する意識

1993(平成5)年に総務庁(当時)が行った「同和地区実態把握等調査」では、自分の子どもが同和地区出身者と結婚することを「子どもの意思を尊重し、親が口出しをすべきではない」と考える人が最も多くなっていました(45.7%)。「親としては反対するが子どもの意思が強ければしかたがない」(41.0%)と消極的ながら賛成する人も加えると、子どもの意思を尊重する人が86.7%を占めました。しかし、「家族や親戚の反対があれば、結婚させない」(7.7%)、「絶対に結婚をさせない」(5.0%)という考えを持つ人がいたことも事実です。

上記の調査結果から、およそ二十年経っても結婚差別がなくなっていない背景を伺い知ることができます。
人権教育啓発推進センター冊子より

あまおうで出会おう開催

12月2日(土)

青壮年部は毎年12月に出会い応援事業「あまおうで出会おう」を行っています。「出会い」がテーマのこのイベント、旬のいちご「博多あまおう」の収穫体験等楽しい出会いの場を企画しています。

農業に興味がある未婚の女性の方々に広く募集していますので、ぜひ参加ください。

【申込み日】平成29年11月23日(木)まで

【日時】平成29年12月2日(土)午後1時30分～午後6時

【お問い合わせ先】営農経済部農産課(担当 樺島)

【アドレス】nousan@ja-mizuma.or.jp



除草剤期間限定特売・日曜朝市開催

資材集約センターでは日頃の感謝を込めて11月1日から18日の期間で除草剤の特売を行います。

期間中は除草剤の「ラウンドアップマックスロード」・「バスタ液剤」・「タッチダウンIQ」・「プリグロックスL」・「コンパカレール」を特別価格で販売します。

また、19日には犬塚購買店で日曜朝市を行います。新鮮な旬野菜や加工品、生活用品、大人気の「鶏の唐揚げ」やみづまの光グループの「おこわ」等の販売を行います。ぜひこの機会にお買い求めください。



<除草剤期間限定特売>

【期間】平成29年11月1日(水)～18日(土)

午前8時30分～午後5時

平成29年11月12日(日)

午前8時30分～正午

【場所】資材集約センター

※11月3日と5日は休みです

<日曜朝市>

【日時】平成29年11月19日(日)

午前8時30分

～午前11時

【場所】犬塚購買店



【お問い合わせ先】営農経済部資材課(担当 高田) TEL0942-64-4373

資材集約センター農繁期営業のお知らせ

資材集約センターは11月の農繁期に伴い、下記のとおり日曜に営業を行います。ぜひご利用ください。

【営業日】11月12日・19日・26日 ※日曜日の配達はいりません。

【営業時間】午前8時30分～正午

【お問い合わせ先】営農経済部資材課(担当 西田) TEL:0942-64-4373

「2017」秋自動車・衣料品総合展示即売会開催

【日時】平成29年11月24日(金) 午前10時～午後6時

平成29年11月25日(土) 午前10時～午後3時

【場所】本所

【お問い合わせ先】営農経済部資材課(担当 西田) TEL:0942-64-4373

直売所オススメ商品

今回オススメする商品は廣重英子さんの商品です。

廣重さんは唐辛子(赤・黄)と里いも、ナスをみづまの里農産物直売所で販売しており、中でもオススメは唐辛子。赤と黄色があり、赤は普通の唐辛子より辛く、黄はそれよりももっと辛く仕上げられており、辛い物が好きな人にはうれしい一品です。

また今後はみかんやハヤトウリ等の販売も行うとのことです。ぜひお買い求めください。

唐辛子(赤・黄)	里いも	ナス
各 100円 (税込)	150円 (税込)	100円 (税込)

【販売店舗】犬塚購買店(担当 高田) TEL:0942-64-4373



お誕生日おめでとう



福光下

ウチダ カイト

内田快都くん(3歳)

平成26年10月21日生まれ

父:裕樹さん 母:今日子さん

〈お子様に一言〉

元気いっぱいな笑顔と優しさで包んでくれるお兄ちゃんになって。



まもなく誕生日を迎えるお子様(1~3歳以下)の写真を募集します。(三潴町在住)
(必要事項)

- ・写真 ・集落 ・名前(ふりがな) ・性別
- ・年齢(生年月日) ・お子様に一言(10~30文字) ・ご家族の名前

【お問い合わせ先】経営対策室(担当 安部) TEL:0942-64-2211

【アドレス】kouhou@ja-mizuma.or.jp

ご応募お待ちしております。



年金・ローン相談会開催

【日 時】平成29年11月19日(日) 午前9時から午後4時

【場 所】本所1階金融共済窓口

【お問い合わせ先】金融共済部(担当 原) TEL:0942-64-2212

編集後記

だんだん寒くなってきました。体調を崩さないよう体操等を行って体を温め健康的な生活を送りましょう。

また、11月は日曜朝市の他にも期間限定で除草剤の特売や、展示即売会がありますので、ぜひお越しください。(安部)

